

令和7年度図書館そだて会議（久世図書館） 議事録

日時：令和7年10月9日（木）
10時～12時
一般参加者：8人、図書館：7人

1. 開会(館長)

2. 参加者自己紹介

3. 今年度の〇〇図書館の取り組みについて→なし

図書館から報告、意見交換

上杉さんから今の図書館の傾向などのお話がありました

4. 来年度の久世図書館の取り組みについて

意見交換、アイデア出し

- ・本離れといわれるなかで本の魅力や良さがどうしたら伝わるか。ティーンズ世代が本に触れる機会が少ない
- ・継続していくことが大事
- ・読み聞かせの良いところはお母さんと子どもが同じ目線で楽しんだり共感したりできること。家にいるお母さんたちにどう伝えるか。図書館活動（読み聞かせ等）の情報をひろげていくには。
- ・地域自治の拠点は図書館を公民館機能として活用していくことだと思っている。図書館中心のイベントを企画、例えばまにわふるさとカルタ（英語版もある）を使ったイベントをしてもらえたらうれしい。
- ・図書館職員と来館者のつながり、コミュニケーション。
- ・ひと箱図書館は推薦した人の紹介でもある。人がみえるのがいい。
- ・施設等に配本を。
- ・紙の本をひらく楽しさをデジタル派の人たちと共有していく
- ・文化事業（ホール・テレビ・花水木）と連携した取り組みを。建設時に意図したかどうかかわからないが複合施設のさきがけなのでは。
- ・テラスの活用
- ・ゲームと本をつなげられないか。
- ・小さな子どもが動きまわってもいいスペース、絵本のスペースがわかれているとお母さんも安心。
- ・絵本から児童書への移行がむずかしいところ。本を読むことが苦手な子どもでも取っ掛かりがゲームやアニメの本からなら読めるのではないか
- ・図書館は子どもが新しい問いをみつけるための場所のひとつ。

- ・小学校の図書館見学を地元の図書館にしてもらいたい。見学しても子どもだけでいくことができない。
- ・学校で学んだこと、私のおすすめ本、学校での活動などを紹介してもらったらどうか（平家物語だったかのまとめがよかった）
- ・掲示板（みんなの声をきかせてください）の設置。次の人につながるメッセージを自由にかいてもらう。この本面白かったよとか。
- ・人が集まる図書館
- ・本の面出し
- ・それぞれの図書館で個性があっていいと思う
- ・読み聞かせボランティアを増やす努力を
- ・絵本作家さんの講演会を聴くと、作家さんの想いをのせて読むことができる。ボランティアにも役立つかと。こういった講演をエスパスと連携して開催してほしい。

5. 「真庭市図書館みらい計画」について

- ・「真庭市図書館みらい計画」改定に伴う概要説明
- ・「図書館そだて会議」の名称について

6. その他

7. 閉会

以上